

## お大師様のことば(第42回)

「現実を目をむけ

行動を起す勇氣が必要だ」

「人間は瓢(ひょうたん)のように柱にぶら下がってはいけいというものではないとは、孔子の言葉である。また、すべての生命あるものは、みな食物をとることによって、この世の生命を保っているとは、お釈迦さまが説かれたところである。」

『遍照發揮性靈集』

●社会改革に尽くしたお大師さま

仏教は、人々を様々な苦しみから救うための教えですが、そのほとんどは精神的な意味での救いでした。ところが、お大師さまは精神的な救いと同時に、社会を変える事で人々の生活上の苦しみを少しでも解消しようという行動を起しています。

人間は食(く)っていくかなくては生きていけないとい



う当たり前の事実を目を向け、単なる宗教家、思想家ではなく、社会変革者としても活躍されたのです。

庶民のための学校である綜芸種智院を作ったり、湧水に備えて満濃池(香川県)を作ったりしたのはよく知られています。

明治時代のお大師さまの研究者であり、東洋大学の創始者でもある井上円了博士は、次のように語っています。

「弘法大師は全国を行脚して、巡錫(じゆんしゃく)の足はほとんど全国にあまねく、しかしその到る所において、必ず多少の記念すべき事業を遺した。あるいは寺院、あるいは温泉、あるいは開墾、あるいは村落など、宗教以外の社会的事業を起したのであった。それゆえ、現今においても全国到る所に、弘法大師の遺蹟として伝えられるものが、なかなか少なくない。」



「略



●現実を変えるには行動が必要だ

お大師さまの足跡は全国津々浦々に残されていますし、これほど日本の民衆に愛された宗教家はいないといつても過言ではありません。それもこれも、お大師さまが机の前に座って説法するだけでなく、あくまでも庶民の立場に立つて行動してきたからだと思えます。

どんなにすばらしい考えをもっている、それを行動や形に表さなければ宝の持ち腐れです。行動を起すには勇氣が必要です。特に、人のために行動を起すにはなおさらです。「正しいことをする」ということ、「悪いことをしない」というのは同じではありません。「悪いことをしない」のは、それほど難しいことではありませんが、「正しいことをする」には勇氣がいります。勇氣もなく、怖気(おそ)づいて尻込みしては、人のために行動することはいうまでもなく、自分の人生を切り開くこともできませんでしょう。



空海のことば(池口恵観書より)

供養祭のご報告

第2西大寺太陽霊園



コスモガーデン倉敷



令和6年4月6日(土)

令和6年3月23日(土)



金甲山太陽霊園



高松太陽霊園



新安佐太陽霊園



令和6年5月26日(日)

令和6年5月18日(土)

令和6年4月14日(日)

令和6年後期供養祭予定

左記に後期の予定を記載しておりますので、ご確認下さい。詳細は、期日が近づきましたら案内ハガキを送付致します。  
※高天原で開催する法要は、案内ハガキの送付はしません

8月13日(火)高天原

10時30分

(浄土真宗)

13時30分

(真言宗)

9月22日(日)高天原

10時30分

(浄土真宗)

13時30分

(真言宗)

10月6日(日)北神戸太陽霊園

10月19日(土)児島太陽霊園

11月16日(土)海田太陽霊園

天候等により予定が変更することがあります。その際は、現地に看板を設置しますので、ご確認ください。



## 令和6年能登半島地震

### 災害義援金のお礼と報告

能登半島地震において被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対しては、心よりお見舞い申し上げます。

当会では、令和6年3月1日～4月30日の期間に、皆様から義援金を募る募金箱の設置、口座開設を行いました。多くの方々にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お預かりさせていただいた義援金、合計八万五千四百一十一円を、日本赤十字社を通じて被災地の皆様へ、「令和6年能登半島地震災害義援金」として全額寄付いたしましたので、ご報告いたします。

皆さまのあたたくいご支援、ご協力に感謝を申しあげるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申しあげます。



## お盆の由来

夏になりますとご先祖様を供養する日として、日本人には欠かせない行事のひとつ「お盆」がきます。正式名称は「盂蘭盆会（うらぼんえ）」と言います。

先祖の精霊を迎え追善の供養をする期間を「お盆」と呼び、お盆の期間は通常、8月13日から16日までの4日間を指します。地域によっては、7月13日からの所もあります。この期間に先祖や亡くなった人達が苦しむことがなく、成仏してくれるようにと子孫達が、報恩の供養を行います。ちなみに「報恩」とは、恩返しのことです。

「盂蘭盆会」とはインドのサンスクリット語の「ウラバンナ」を

漢字で音写したもので、転じて、「逆さまに吊り下げられるような苦しみにあつている人を救う法要」という意味です。

盂蘭盆会の由来は、お釈迦様の弟子の一人、目連尊者(もくれんそんじや)が母を救う話からきています。

目連尊者はある時、亡くなった母は今頃どこにいるのだろうと思って、神通力で見



たところ、餓鬼道に堕ちて苦しんでいるのを見つけます。

餓鬼道とは、欲深い人が行くところで、食へ物や飲み物をとることが出来ず、ガリガリにやせ細つて飢えと渴きに苦しむ世界です。

目連尊者はお釈迦様に母を救いたいと相談しました。するとお釈迦様は、「そなたの母親の罪は深いので、一人の力ではどうにもならない。7月15日にたくさん僧侶が集まるから、その僧侶に布施をすれば布施の功德は広大だから母親を餓鬼道の苦しみから抜けられるだろう」といわれます。

目連尊者がその通りに実行すると、母親は天上界に救われたといわれます。

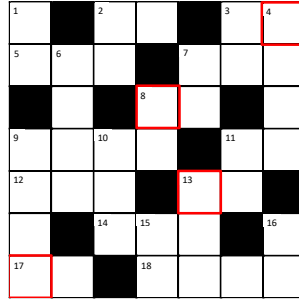
それ以来、旧暦の7月15日は父母や先祖に報恩感謝をささげる供養をする日になりました。現在は、8月に先祖の霊が帰ってくる日ということで、親戚一同が集まつてご先祖や亡くなった人を偲ぶ行事になっています。



『仏説盂蘭盆会経』より

# クロスワードパズルにチャレンジ!!

ヒントを元に、マスに言葉を当てはめてください！赤枠に入る文字を並べて出来る  
4 文字の言葉はなんでしょう？  
ヒント★ロシアとウクライナの国花



## 【たてのカギ】

- 1 実際以上に美しく表現すること
- 2 そこにいる人すべて。みんな
- 3 物が燃え尽きた後に残る粉
- 4 あとで現実となる夢
- 6 石炭を採掘する鉱山
- 7 体が細長く、足がない爬虫類
- 8 内臓。魚の〇〇を抜く
- 9 ある期間そこに宿泊すること
- 10 木から分泌される粘液が固まった物
- 11 鳥の一種。だましや相手が固まったこと



- 13 肩を並べる事。同等であること
- 15 味を付け加えること
- 16 利益を失うこと。また、失ったこと

## 【よこのカギ】

- 2 音声を聞く器官
- 3 海や湖の水際に沿った平らな陸地
- 5 江戸時代、武士が腰に差した刃物
- 7 出入り口を閉ざすこと
- 8 茶道・俳諧などの美的理念で閑寂・質素な趣
- 9 熱いものをすぐに食べられないこと
- 11 体が固い甲羅に覆われている爬虫類
- 12 灯火用の油や暖房用燃料の油
- 13 縛つたり、束ねたりする細長いもの
- 14 からくりや仕組み
- 17 金銭を一定期間借りたことに対する対価
- 18 公の機関に属さない企業



**赤枠**の4文字を並べて出来た言葉を記入して、下記宛先までご応募ください。

正解された方の中から抽選で景品をご用意しておりますのでお楽しみに！

【締切】令和6年8月末日(当日消印有効)

## 【第124号の答え】

たくさんのご応募ありがとうございました。第124号の答えは『**タケノコ**』でした。皆さんいかがでしたか？



## 【当選者の発表】

岡山市 中山 様 倉敷市 辻 様  
広島市 佐々木 様 広島市 岡本 様  
福山市 北井 様  
以上5名様、ご当選おめでとうございます。当選された方には、「手首式デジタル血圧計」をお送りしました。

〒700-0942 岡山市南区豊成2丁目10番113号  
(宗) 円蔵院太陽の会  
岡山事務局 クイズ係 行

・クイズの答え  
赤枠の文字を並べて出来た4文字の言葉を記入してお送りください。

・今回の良かった記事  
・掲載を希望する記事  
・ご意見ご感想

〒 住所  
電話番号  
会員番号  
氏名 年齢